

■ 事業計画書（一般融資）記入要領（様式 3 号の 1）

1. 設備を行う動機・目的及びその効果

・ 物流施設の場合

道路、交通事情、需要構造の変化など外的要因にも触れ、施設の現状と問題点及びその改善策を述べ、今回設備の狙いを明確に示す。効果はできるだけ具体的(計数的)に説明する。

・ 福利厚生施設の場合

施設の現状と問題点、今回設備の必要性・利用見込み、収益面への影響などを説明する。

・ 荷役機械の場合

設備の必要性、設備前と設備後の能力・能率比較、省力効果、収益面のメリットなどを説明する。

・ 車輛の場合

代替増設の別を記入するだけでよい。

2. 計画の概要

- ・ 物件の種類：土地・建物、機械設備、車輛等の別
- ・ 構造・形式：土地の地目・用途、建物の構造、車輛の種類・形式(初登録年、形状、型式)など
- ・ 面積・数量：土地・建物などの面積 車両の台数

記入例（令和 5 年 4 月申請分）

総投資内容	投資内訳	金額	発注契約先	支払(予定)	完成(予定)
当該推薦事業年度の 4 月以降支払分	車両購入資金	▶ 35,000 千円	A 自動車(株)	R5 年 6 月	R10 年 5 月
		千円		年 月	年 月
		千円		年 月	年 月
		千円		年 月	年 月
	合計① (=⑤)	35,000 千円			
	資金調達内訳	金額	(予定)時期	留意事項	
	近代化基金融資借入② つなぎ融資(有・無)	▶ 30,000 千円	R5 年 6 月	・③④による支払済分は推薦対象外 ・つなぎ融資にて支払の場合、近代化基金融資借入金②によるつなぎ融資の一括返済が条件	
	他行借入金③	0 千円	年 月		
	自己資金④	▶ 5,000 千円	R5 年 6 月		
	合計⑤ (=①) (=②+③+④)	35,000 千円			